

## 輸送動向について(11月分)

平成18年12月

## 1. 輸送概況

今月は、上旬には急速に発達した低気圧の影響で、北陸から東北地方の日本海側を中心に強風による輸送障害が発生した。また、下旬には武蔵野線での機関車故障を原因とする輸送の乱れに加え、南武線尻手駅構内における信号機故障が重なったことにより、各線区にかつてないほどの影響を及ぼし、大幅な列車の遅延と運休が生じた。この結果、月全体では高速貨142本、専貨13本が運休した。

荷動きについては、輸送障害の影響を大きく受けた他、季節物資の伸び悩み等もあり、全般的に低調に推移し、輸送量全体では前年比97.1%となった。

コンテナ貨物では、11月15日から新しく専用列車の運転を開始したことにより増送となった自動車部品及び政府米の出荷が好調であった農産品などが前年を上回ったものの、化学薬品、エコ関連物資などが前年を下回った他、九州地方のみかん及び新潟地方の柿が減送となった生野菜青果物が低調に推移し、コンテナ貨物全体では前年比101.0%となった。

車扱貨物では、石灰石などが前年を上回ったものの、輸送障害の影響も受けた石油をはじめ、セメント、紙・パルプなどが前年を下回り、車扱貨物全体では前年比91.1%となった。

## 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	2,008	1,989	101.0%	15,353	14,924	102.9%
車 扱	1,157	1,270	91.1%	8,332	8,946	93.1%
計	3,165	3,259	97.1%	23,684	23,870	99.2%

## 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品	122	108	14	113.0%
	生野菜青果物	113	118	-5	95.8%
	化学工業品	192	184	8	104.3%
	化学薬品	145	156	-11	92.9%
	食料工業品	287	293	-6	98.0%
	紙・パルプ	330	312	18	105.8%
	他工業品	140	135	5	103.7%
	積合せ貨物	223	224	-1	99.6%
	自動車部品	64	55	9	116.4%
	エコ関連物資	31	43	-12	72.1%
	その他	361	361	0	100.0%
コンテナ計	2,008	1,989	19	101.0%	
車 扱	石 油	736	808	-72	91.0%
	セメント	91	119	-28	76.5%
	石 灰 石	68	52	16	130.8%
	車 両	121	138	-17	88.0%
	紙・パルプ	29	42	-13	69.0%
	化学薬品	49	54	-5	90.3%
	その他	63	56	7	112.2%
車扱計	1,157	1,270	-113	91.1%	
合 計	3,165	3,259	-94	97.1%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)